

薬剤師によるワクチン接種を可能とするための制度改正

【担当省庁】 厚生労働省

奈良県における取り組み

- ・ ワクチン接種は、新型コロナウイルス感染症対策の決め手
- ・ 死亡者や重症者を減らし、一日でも早く、住民が安心して生活をおくれるために、ワクチン接種の加速が必要
- ・ ワクチン接種の加速のための大きな課題は、ワクチンの打ち手の確保

高齢者のワクチン接種における奈良県の取組

- 集団接種会場の稼働率向上をめざし、「研修医チーム」を市町村の集団接種会場に派遣
 - 派遣先 16市町村
 - 派遣チーム数 計233チーム
 - 参加メンバー 研修医 延べ983名
 - 指導医(又は上級医) 延べ233名
 - 事務職員 延べ233名
 - 合計 1,449名
- 研修医チームの派遣により、県内すべての市町村において、7月末までに希望する高齢者への優先接種が終了する見込み

- ・ 医療体制が逼迫する中で、今後一般住民への接種を加速させるために、先進諸国でも例があるように、薬剤師を打ち手として活用したい。
(県内薬剤師の数 2,830名※)

※厚生労働省統計白書H30.12.31現在

先進諸国での薬剤師によるワクチン接種について

薬剤師が予防接種可能な国(F) : アメリカ、イギリス、アイルランド、フランス、スイス、ポルトガル、デンマーク、ノルウェー、ギリシャ

薬剤師が管理可能な国(P) : イタリア、オランダ、スウェーデン、フィンランド、エストニア

【 アメリカ合衆国の例 】

- ・1993年、**予防接種の実施**において、**薬剤師**が必要不可欠な役割を担うと米国薬剤師会が**提言**
- ・1994年、シアトルで薬剤師を対象とした**予防接種の研修プログラム**を実施
- ・1996年、米国薬剤師会が薬局予防接種推奨ガイドライン作成、「**薬剤師による予防接種の認定研修プログラム**」が構築
- ・2017年、約32万人の薬剤師がプログラムを受講



出典 : Int. J. Environ. Res. Public Health 2020,17,7945;doi:10.3390/ijerph17217945

国にお願いすること

1. 薬剤師によるワクチン接種を可能とするための制度改正

薬剤師が新型コロナワクチンの注射を行えるよう、法令改正を含め、早急な制度整備をお願いしたい。

2. 予防接種研修プログラムの構築等

薬剤師が安全に注射できるよう、研修プログラムの構築と研修の実施などに取り組んでいただくようお願いしたい。

【県担当部局】 医療政策局 薬務課